広報 みどり水土里ネット

胆沢平野

平成29年1月
No.136

春を待つ胆沢ダムと焼石連峰

目次

1 表紙（胆沢ダムと焼石連峰）
2 理事長挨拶
3 胆沢平野版農業クラウドシステムの取り組み
4 多面的機能支払交付金全国発表
5 基盤整備事業の加速的推進
6 平成28年度 維持管理工事
7 戦略的資格取得の取り組みについて
第３回胆沢平野土地改良区収穫祭
8 お知らせ　編集後記

◆受益面積 9,291ha　発行／胆沢平野土地改良区〔岩手県奥州市水沢区字北田140－1　✆0197（24）0171〕
◆組合員数 6,953人　ホームページアドレス　http://www.isawa-heiya.or.jp/

年頭のご挨拶

胆沢平野土地改良区　理事長 **及川正和**

― 農の変革期を支える土地改良区の挑戦 ―

あけましておめでとうございます。
新年が皆様方にとりまして、幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本土地改良区にとりまして今後の土地改良のあり方に大きな追い風となる二つの流れが起きた年でありました。

まずは、昨年７月の参議院選挙におきまして、私共土地改良の代表であります進藤かねひこ氏が見事に当選されました。改めて皆様方のご支援ご協力に衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。進藤先生には新年も引き続き「闘う土地改良」の先頭に立って力強いご活躍を期待するところです。

二つ目は「土地改良関係予算」についてです。

「強くて競争力のある農業」の実現に向けては基盤整備が急務であり、その推進力となる「予算復活」が不可欠でした。国では、土地改良関係予算を前年の990億円を大きく上回る1,752億円の補正予算を措置し、平成29年度当初予算についても対前年度比120％に当たる4,585億円の概算要求をしております。ＴＰＰ交渉が不透明な中では、当初予算の確保が一層重要です。

こうした中で、本土地改良区では「胆沢平野版農業クラウドシステム」と「基盤整備の加速的推進」を二大方針として取り組んでまいりました。

クラウドシステムにつきましては、平成29年度の本格開始に備え、現在57経営体が来年度の利用者として登録されており、当初目標でありました50経営体を上回る利用状況となっております。経営体の将来展望を描くこのシステムが着実に普及しているということは、土地改良区が基盤整備事業を通じた経営体の「育ての親」として、着実に一歩を踏み出したことを裏付けていると思っております。

「基盤整備の加速的推進」につきましては、計画調査地区10地区1,632haと面工事地区２地区523haに、事業主体であります岩手県のご指導のもとに取り組んでおります。県の補正予算も愛宕地区の７億円を始め総額27億円の補正予算が措置され、事業の加速的推進も可能となったところです。

農の変革期を迎えた今、力強い農業を支える土地改良区に求められる役割は基盤整備や水利施設の維持管理に留まらず、ＩＣＴを活用した新たな挑戦が必要であると考えておりますので、本年も皆様方の温かいご協力と力強いご指導をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

本年も宜しくお願い致します

理事長	及川正和
副理事長	千田公喜
総務担当代表理事	吉田力雄
事業担当代表理事	佐々木統治
理事	千田正
理事	岩村耕
理事	佐藤富雄
理事	大山等
理事	及川右
理事	阿部弘志
総括監事	吉田勝幸
監事	高橋至
監事	髙橋勝郎

胆沢平野版農業クラウドシステム

平成28年度は「胆沢平野版農業クラウドシステムの取り組み」についてを重点目標に掲げシステムのモニタリングを職員一丸となって実施しています。

１．モニタリングの実施状況（役職員のぞく）

平成29年度の本格開始に向け50経営体の継続利用獲得を目標に取り組んでおり、平成28年12月末現在57経営体から引き続き利用したいとのお声を頂いております。

目標継続利用数 **50** 経営体 → 継続利用数 **57** 経営体

目標達成率 114%

２．モニターからの声

平成28年６月から実施したモニタリングでは、ご協力いただいた皆様方から様々なご意見を頂戴しております。その一部についてご紹介させていただきます。

農事組合法人　アグリ笹森
事務局長　織田義信 様

全体のコストを把握して**儲かったかどうか**知るために営農分析システムを利用したいと思いました。

基盤整備予定の地区で作成する**営農ビジョン**や**収支計画検討**の際、営農計画支援システムが大変役立ちました。

農事組合法人　アグリ小山
理事　渡邉和男 様

水沢区
加藤豊文 様

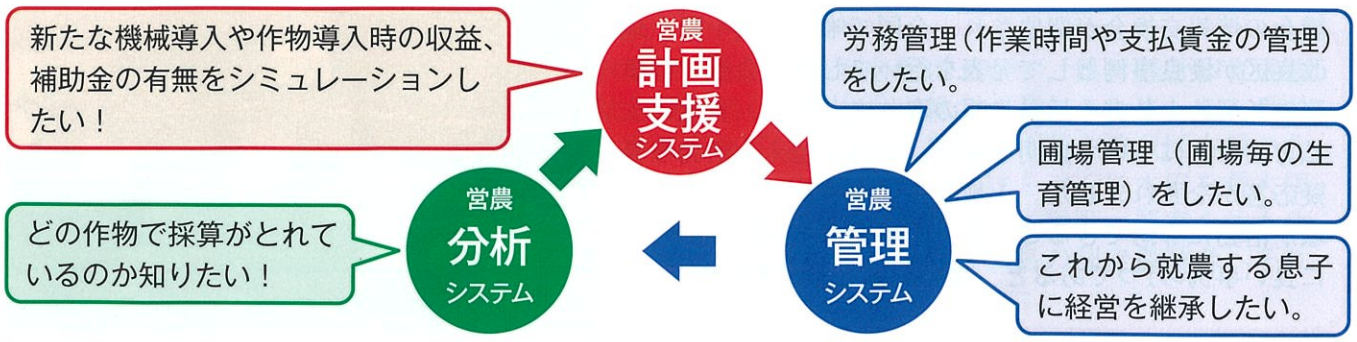
手書きよりデータ記録の方が速いので楽だと思います。操作を職員が直接教えてくれるので、**無料でパソコンを勉強できる絶好のチャンスでもある**と思いました。

作業圃場が増えていくと、作業の進捗管理が難しくなってくるので、営農管理システムを使って**圃場管理ができる**と感じました。記録しておくことで秋には収穫圃場の優先順位も見当がつけられます。

水沢区
粟野　嘉 様

３．胆沢平野版農業クラウドシステムの特徴

エクセルを活用した「計画」「管理」「分析」の３つのシステムを**「無料」**でご利用いただけます。使い方や操作方法については、土地改良区の職員が丁寧に説明いたします。

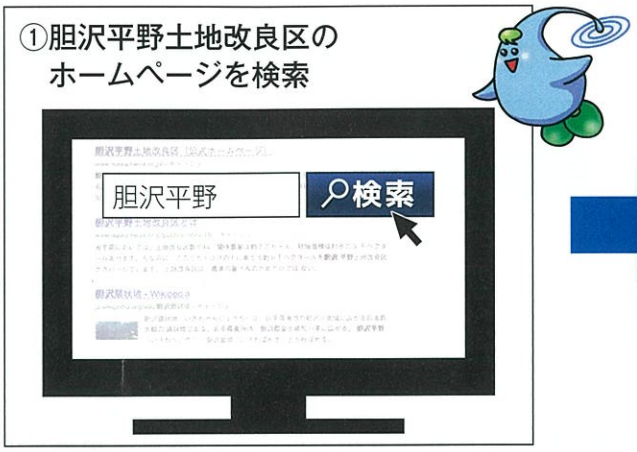


胆沢平野版農業クラウドシステム

4．胆沢平野版農業クラウドシステムの利用方法

平成29年４月からは、モニタリングにより使いやすくなった３つのシステムについて、胆沢平野のホームページからどなたでもご利用いただけるようになります。併せて農業経営に役立つ情報の発信もしていく予定です。

①胆沢平野土地改良区のホームページを検索



②胆沢平野版農業クラウドシステムのメニューをクリック

［お問い合わせ：クラウド推進室］

■直通電話番号：☎24-0216

月曜日～金曜日 ※午前9時～午後5時まで

お問い合わせは、担当の髙橋・鈴木にお願いします。

室長
小野寺和人

室長補佐
髙橋優恵

主査
鈴木明日香

多面的機能支払交付金事務受託団体として全国発表を行う

平成28年11月１日（火）に東京大学弥生講堂で開催された多面的機能支払交付金事例研究会にて事例発表を行いました。事例研究会には約200名が出席し５団体から事例報告がなされ、全国で唯一事務受託団体として胆沢平野が発表を行いました。千葉佐知子主事が胆沢平野管内で実施している農道、水路整備の成果を説明いたしました。主催である農林水産省農村振興局柵木室長からは「地域と土地改良区の連携により、活動の継続性や工事品質の向上に結びついている」とお褒めのお言葉を頂きました。

11月２日（水）にはシェーンバッハサボーにおいて協議会の情報交換会が開催され、全国で唯一胆沢平野土地改良区が優良事例として発表を行いました。会議では事務受託契約の仕方や活動日報の取りまとめ方、賃金の支払方法などについて説明を行い、20件を超える活発な質疑応答がなされました。土地改良区が事務を受託し、地域が活動に専念できることは、本事業の全国普及のために良い事例の1つであると、高い評価を頂きました。

基盤整備事業の加速的推進　平成28年度の事業実施状況

現在胆沢平野管内では、県営基盤整備事業が9地区、中山間地域総合整備事業が1地区進められています。水田の整地などをする面工事は胆沢区南都田の荻ノ窪地区で29.3haが実施されており、事業完了に向けた工事の手直しを行う補完工事と権利確定に向けた換地業務については、都鳥地区、南下幅北部地区、裏新田地区、内堀地区で行われています。新しい田んぼの場所を決める事前換地は若柳中部地区で進められており、胆沢平野土地改良区は換地業務を受託し着実な推進に努めております。

また、計画調査地区10地区1,632haでは事業区域や営農ビジョンの検討、仮同意徴集が進められています。胆沢平野土地改良区は、役職員一丸となって円滑な事業採択の推進に向けて支援に努めております。

県営経営体育成基盤整備事業南下幅北部地区権利者会議開催

平成28年12月2日（金）南都田地区センターにおいて、県営経営体育成基盤整備事業南下幅北部地区（全工区）権利者会議が関係者多数出席のもと開催されました。施行委員会阿部委員長は「担い手不足が懸念される中で、今回の事業により2つの法人と9名の個人担い手が誕生した事は、権利者皆様のご理解とご協力のおかげです」と挨拶。

議長に高橋透氏が選出され、第1号議案「南下幅北部地区の換地計画決定について」が全会一致で可決されました。

平成28年度採択地区

平成28年８月23日（火）南方公民館において、県営経営体育成基盤整備事業南方地区施行委員会設立総会が開催されました。受益面積は117.5ha。胆沢区小山の南部に位置しており、今回の基盤整備を契機として、水稲のほか大豆、WCSの転作に取り組み、安定的な農業経営と将来に亘って地区の農地を守っていくため10名の担い手によるオペレーター型法人を設立する予定です。

平成28年10月27日（木）JA産直来夢くん２階会議室において、県営経営体育成基盤整備事業真城北地区施行委員会設立総会が開催されました。受益面積は70.4ha。水沢区真城の北部に位置しており、今後は永続的な農業経営を進めるため、７名のオペレーターによる営農組織の法人化、３名の認定農業者へ集積を行う予定です。

平成28年11月９日（水）折居町会館において、県営経営体育成基盤整備事業真城南地区施行委員会設立総会が開催されました。受益面積は59.3ha。真城南地区は、水沢区真城の南部と前沢区古城の北部に位置します。今後は大豆、小麦の作付けを中心に水田を最大限に活用した営農を目指し、真城分の大深沢、折居町、要害を法人化しているアグリティック真城へ、古城分を２名の認定農業者へそれぞれ集積を行う予定です。

平成28年度　維持管理工事の状況について

平成28年11月15日（火）に小用排維持管理事業、12月９日（金）には基幹水利施設維持管理事業の工事が発注となりました。現在、本格的に工事が実施されておりますので、関係受益者及び近隣住民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 小用排維持管理事業

（単位：m）

工　区	路線名	延　長
若柳１	下沢田	66.0
	荒谷	80.8
	香取	67.5
若柳２	下横沢原	76.0
	下萩森	76.0
	中萩森	72.0
小　山	二枚橋	33.9
	上中谷地	70.0
	斉藤	20.6
南都田	郷田	49.7
	銭倉	10.0
	作屋敷	88.3
佐倉河１	下谷地	31.7
	千刈田	30.0

工　区	路線名	延　長
佐倉河１	明神堂	35.0
	喜性坊	51.0
	関田	69.7
	外和田	50.0
佐倉河２	杉本	22.4
	天井町	30.0
	百目木	30.0
	瀬ノ上	50.0
	東袖ノ目	50.0
	竈堂	30.8
水　沢	笹森谷地（1）	30.0
	笹森谷地（2）	30.0
	多賀	50.9
	樋渡	44.0

工　区	路線名	延　長
真城・姉体	畑ヶ田（真城）	18.0
	中道（真城）	18.0
	杉山下（真城）	18.0
	北新田下（姉体）	18.0
	上野（姉体）	20.0
前　沢	竹沢（1）	44.0
	竹沢（2）	25.3
	平前	48.0
	箕輪	42.6
古城・白山	丑沢上野（古城）	28.0
	比良（古城）	16.0
	上ノ台（古城）	26.0
	彼岸田（白山）	20.0
	宮内（白山）	20.0
合　計	42路線	1708.2

2. 基幹水利施設維持管理事業

（単位：千円）

工　区	地　区	施設名	内　容
若柳・小山・南都田	若柳	与四郎ため池	漏水補修
	若柳	愛宕ため池	取水栓補修
	若柳	萩森ため池	底樋補修
	小山	6号（5）スタンド	土砂吐管補修
	小山	寿安上堰用水路	漏水補修
	小山	油地水路	法面補修
	小山	森小水路	水門補修
	小山	原川水路	水路補修
	南都田	都鳥用水路	水路補修

工　区	地　区	施設名	内　容
永栄・佐倉河・真城	永栄	大屋敷水路	漏水補修
	永栄	永栄水路	漏水補修
	佐倉河	西田水路	水路補修
	真城	高縁JR東スタンド	制水弁補修
古城・前沢・白山	古城	寺領排水路	水路補修
	前沢	比良取水口	水門補修
	前沢	8号（7）スタンド	配水槽補修
	白山	宮内排水路	水路補修
合　計	17箇所		

平成28年度　多面的機能支払交付金長寿命化活動工事

平成28年10月21日（金）に各運営委員会会長出席のもと、管内10地域59路線についての多面的機能支払交付金長寿命化活動の工事が発注となりました。この工事については、関係する地域の農地・水・環境保全管理協定運営委員会にて計画された農業用排水路の長寿命化のため、素堀り水路からコンクリート水路へ更新する内容となっております。

胆沢平野土地改良区としては、各運営委員会から委託を受け、これまでに測量設計に取り組み、現在は現場施工管理を進めております。

胆沢平野土地改良区戦略的資格取得の取り組みについて

胆沢平野土地改良区再生基本構想に基づき「戦略的資格取得」に取り組んでおり、これまでの結果は以下の通りとなっております。今後も組合員並びに関係機関の皆様方からより一層信頼されるよう職員一丸となってチャレンジして参ります。

役　職	氏　名	資　格	役　職	氏　名	資　格
係長	佐々木　　渡	換地士、測量士、１級土木	課長	及　川　英　彦	測量士、１級土木
主査	菅　原　宏　昭	測量士、１級土木	主事	佐々木　　稔	換地士、測量士
期限付職員	佐々木　悠　美	換地士、測量士	課長	千　葉　英　宏	換地士
課長	佐　藤　正　喜	１級土木	課長	小野寺　和　人	換地士
課長補佐	石　川　康　幸	換地士	係長	野　村　　弥	１級土木
主任	千　田　智　和	換地士	主事	佐　藤　貴　浩	換地士
主事	千　田　武　則	換地士	主事	千　田　祐　介	換地士

【平成28年12月現在】土地改良換地士：10名　測量士：５名　１級土木施工管理技士：５名

第3回　胆沢平野土地改良区収穫祭を開催

若柳小学校三年生による「いさわへいやの唄」の演舞の様子

平成28年10月29日（土）胆沢平野土地改良区敷地内において、第３回収穫祭を開催しました。このイベントは、命の水の恵みがもたらす五穀豊穣に感謝すると共に、先人達が水を求めた苦難の歴史を次世代に伝えることを目的に開催しています。その想いは、胆沢ダム完成時に徳水園に建立した記念碑の碑文「命水悠久・報恩謝徳」に刻まれています。

当日は、1,442名の来場があり、産直各店による農産物販売や、義援金コーナー、足踏み脱穀機体験や市内の小学校、幼稚園、保育園児による演舞披露等により祭りを盛り上げました。また、新企画となった「胆沢ダムのあゆみ」のDVD上映も大好評でした。

【収穫祭で寄せられた義援金を岩泉町へ】

平成28年11月21日（月）に、収穫祭で皆様よりお預かりした義援金103,452円を小本川土地改良区、岩手県沿岸広域振興局立会いのもと、岩泉町へ寄附してきました。この義援金は、台風10号の被害に遭われた岩泉町の復旧・復興を願って来場者と胆沢平野土地改良区役職員より寄せられたものです。

及川理事長は「被害に遭われ、多くの方が亡くなられた高齢者施設入所者へ献花して参りました。この義援金は収穫祭に来場された皆様から1日も早い復旧・復興を願い寄せられた義援金であります。」と手渡し、伊達町長からは「大変有り難く頂戴いたします。」と感謝の言葉を頂きました。

左側より小本川土地改良区佐々木理事長、岩泉町伊達町長、本土地改良区及川理事長、振興局宮古振興センター伊藤所長

シリーズ胆沢平野探訪！　第１回

新企画

記念碑「命水悠久・報恩謝徳」

胆沢平野にまつわる施設や歴史、名所を紹介してまいります。第１回は胆沢区若柳の徳水園に胆沢ダム完成を記念して建立されている記念碑をご紹介します。

碑文には胆沢ダムの完成により、農業を支える命の水が絶えることなく胆沢平野を潤し続け、そして、ダム建設に深いご理解をいただき慈愛の地を提供された水没移転者の方々と、建設や支援に携わった多くの方々のおかげで、私達の今の安心安全な生活が成り立っていることを後世に伝えたいとの感謝の気持ちが込められています。

ご確認ください。　こんなときには手続きが必要です。

公共機関（市、町、農業委員会、農地中間管理機構、農協等）で変更手続きをしても、土地改良区へ届け出なければ変更されません。土地改良区へ届け出をお願いします。

◎問い合わせ先：賦課徴収課

★組合員の資格に異動があった場合

■農地の権利異動
（売買、交換、賃借契約または解約など）
■農業者年金の受給、後継者へ経営を移譲
■組合員が亡くなられた
■組合員の住所が変更

★農地を転用する場合　『決済金』の納入が必要です。

■農地を宅地など、農地以外に転用する
■農地が道路などの公共用地で買収された
※農地転用や公共事業の買収で地区除外されると、農地転用の意見書交付と同時に「決済金」の納入が必要となりますので、事前にお問い合わせください。

◎問い合わせ先：賦課徴収課

土地改良施設を使用したい場合

■水路に橋を架けて出入口に使用したい
■水路用地を使用したい

排水を放流したい場合

■浄化槽処理水や雑排水を水路に放流したい

水路を工事したい場合

■素掘水路等をコンクリート水路等に工事したい

◎問い合わせ先：水利整備課

※手続きの詳細につきましては、それぞれ担当課にお問い合わせ願います。

★賦課金・使用料の納付には、口座振替をお勧めします。

口座振替を希望される方は、預貯金通帳及び通帳印鑑、ご本人確認できるものを持参のうえ、お近くの取り扱い可能な金融機関の窓口にて、お申し込みの手続きをお願いします。

また、ゆうちょ銀行より口座振替をご希望される方は、お手数ですが土地改良区までお問合せください。なお、口座振替の手続きには1ヶ月程度かかりますので、お早めに申し込みください。

※賦課金と使用料では、取り扱い可能な金融機関が異なりますのでご注意ください。

口座振替可能な金融機関

賦課金	・岩手ふるさと農協、ゆうちょ銀行 ※平成29年4月から下記の金融機関でも口座振替ができます。 ・岩手江刺農協 ※詳細につきましては、賦課徴収課にお問い合わせ願います。
使用料	・岩手ふるさと農協、岩手銀行、ゆうちょ銀行 ※平成29年4月から下記の金融機関でも口座振替ができます。 ・東北銀行、北日本銀行、水沢信用金庫、岩手江刺農協、東北労働金庫（予定） ※詳細につきましては、水利整備課にお問い合わせ願います。

編集後記

新年あけましておめでとうございます

昨年は、地球温暖化の影響か台風が今までにない進路をとり、岩手の沿岸部や県北で大きな被害をもたらしました。今年１月アメリカ合衆国では、新大統領が誕生します。世界情勢も目まぐるしく変化し、これまでになく今までの経験や予測を超える備えが必要であると感じています。そんな時代にありましても組合員の皆様には、今年一年が良い年でありますよう心よりお祈りいたします。

□広報編集委員
委員長：吉田力雄総務代表担当理事
副委員長：佐々木統治事業代表担当理事
編集委員：野村　弥、佐々木稔（総務課）
佐藤貴浩、千田祐介（企画換地課）
石川康幸、村上裕馬（水利整備課）
佐藤勇一（賦課徴収課）

◉退　職

平成二十八年十一月二十一日付

長い間、土地改良事業の発展にご尽力され、大変ご苦労様でした。今後のご活躍をご祈念申しあげます。

小野寺一也
調査計画課長　六年間
事業課長　五年間
総務課長　四年間
水利整備課長　二年六ヶ月間
（在職期間　計三十三年八ヶ月）